

【件名】

海水浴客のマナーについて

【内容】

私はこの街で生まれ育ち 30 年ですが、まだ若者の世相も理解できる私ですら最近の観光客、また受け入れる我々側の対応に疑問を感じずにはられません。

周囲から素敵なところだと言われるのと反比例するように、街への満足度は下がりこの街の今後に危機感を覚えますので投稿することにしました。

まずは海水浴シーズンにでくわした驚くべき人々です。

1. JR 鎌倉駅の東口改札真ん前の地べたに座り込んで、まるでリビングのように雑談している若者
2. 江ノ電改札横の銀座アスタービル入口の地べたに座って歩道にナマ足を投げ出している女性
3. 鎌倉駅から材木座海岸への道を水着のみで歩く人々（特に女性）

近年、湘南はメディアのつくりあげるハワイやサーフィンやらやたらおしゃれなイメージにおんぶにだっこで、観光客が鎌倉＝海というイメージをもって遊びに来てしまうのは仕方ありません。

本当に海の近くの住人、マリンスポーツを日課にしている住民の中には確かにそのような人もいますが、若宮大路を駅に向かって水着で歩く者はいないでしょう。

ただでさえ狭い道、車道と歩道の境目のない道をあえてサンダルを脱いで裸足歩こうなんて危険すぎて運転するこちらからすれば迷惑すぎます。

けれども観光客のイメージではそれが通用する街になってしまっているのです。

個々人のマナー、道德の問題になるので何も言うことはできないと回答せざるを得ない状況とは思いますが、すくなくとも 3 に対しては条例を作ってしまうのもいいのではないのでしょうか？

昨年まではあまり気になりませんでしたでしたが今年はひどい有様です。

東京から来ていた知人は、駅の改札を出たとたんに女性の水着の後姿を見てぎょっとしたといいます。見たくもないものを見せられて、ある意味公然わいせつのようなものです。

また、目に見える観光客の増加に対して、特に駅の対応力の低さが気になります。

受け入れる側も学習し高めていこうという意識があるのだろうか？と、これで一度は世界遺産に申請などよくできたものだと思います。

上記 1, 2 に対しても見て見ぬふりをしているのか誰も何も声をかけません。

JR 鎌倉駅のホームへの階段は中央が下り両サイドが上りとなっていますが、休日の午後にもいつも通り表示通りに真ん中を下ろうものなら、帰る観光客にどれだけ体当たりされることかご存知でしょうか。人の多さによって通路を変えたほうが良いと判断するならば、なんとなくそうさせるのではなく住民含めて皆が把握できるよう、駅員が整備案内するかシステム化するぐらいの対応をしてほしいと思います。

上り電車から降りる人を待たずにドアの前に立って乗ってこようとする人々の様子を見ていないはずがありません。

おそらくこの街は、なにかしら大きな事故がおこってからではないと本気で対策を打たないだろうからここ最近では事故がおこればいいとすら思います。

繰り返しになりますが、観光客への対処法に関しては個々人の節操の問題にもなってくるので非常に難しいとは重々承知ですが、観光地であるからこそ、ある程度観光客に嫌われる覚悟をもつべきだと思います。

います。

【回答】

具体的にご指摘いただきました、海水浴客を含めた観光客のマナーの事例につきましては、条例による規制は非常に困難であるため、行政としては、観光客向けの市ホームページや観光客の方々にお配りしている観光マップ、海水浴場での立て看板等を用いて、観光スポットや街中におけるマナーアップについて、引き続き呼びかけをしてまいります。

また併せて、本年から、「鎌倉市海水浴場のマナーの向上に関する条例」を強化し、砂浜での飲酒禁止や入れ墨の露出禁止などの禁止事項を掲げ、海水浴場における風紀の改善に向けて取り組んでいるところです。今後もさらなる改善に向けた取り組みも必要と考えておりますが、海水浴場における風紀の改善が達成されることによって、市街地におけるマナーについても、好転することを期待しています。

なお、東日本旅客鉄道株式会社を含む観光関連団体や事業者とは、定期的に会合を設け、鎌倉における観光の諸問題にかかる課題や情報の共有を図っておりますので、ご指摘、ご意見も共有した上で、今後も相互協力のもと取り組んでまいります。

平成 27 年 8 月 20 日対応／回答